

さいたま市シニアユニバーシティ岩槻校第9期大学院会報第1号

会長就任挨拶

大学院 会長 澄川 ○○

5月1日の大学、大学院合同入学式から早、一か月が過ぎ、新たな学生生活が始まりました。昨年の大学の仲間76名のうち15名が各々の理由でやめられ、61名が大学院の門をくぐりました。また一年間学びの場でお付き合いする事になり、大変うれしく思います。

この度、大学院での交友会長に選出いただきありがとうございます。立場の重要性・責任の重さをひしひしと感じています。役不足とは思いますが、皆様のご協力を得まして一年間しっかり役割を果たしたいと思います。授業だけでなく、クラブ活動、交流会の事業活動を通じて、お互いを励まし合い、少しでも楽しく学生生活を過ごせるように、努力したいと思います。

入学式挙行

風薫る新緑の5月1日、合同入学式がさいたま市民会館おおみやで開催された。国歌斉唱の後、学長である清水市長他来賓の方々からお祝いと激励の挨拶があり、学生を代表して石栗 ゆり子さんから「誓いの言葉」があり、式典後コーラスの余興があり4時前に終了した。参加した学生は大学・大学院合わせて996名。岩槻校の大学院生は61名である。

新役員と組織再編のお知らせ

第19期会長羽廣会長が大学院に入学されないため、9期の臨時理事会を開催した結果下記の人事が内定。合わせて内部機構も若干改正され、5月19日の臨時総会で承認された。

第9期大学院 役員

会長 澄川○○ 副会長 三品○○ 関谷○ 会計 宮崎○○ 町田○○ 総務浪江○○
前沢○○ 広報 瀧田○○ 樺木○○ 会計監査 田村○○ 江原○○

新会長には副会長の澄川○○さんに就任いただき、欠員の副会長に会計の関谷○○さんが移籍。会計に町田○○さんと総務に前沢暁三さんと広報に樺木○○さんが新理事に就任。新たに広報委員会が新設された。会計監査には田村○○さんになっていただき、大学院はこの新体制で活動する事になった。 乞うご協力を！

国際友好フェアに参加して

4班 唐澤 ○○

5月3日 さいたま市国際友好フェアが見沼グリーンセンターで開かれ特設舞台上で私たち5名のメンバーでネパールの太鼓(マーダール)演奏3曲を披露しました。出演依頼があつてから5週間で新曲を加えたので、いつもは若い先生をからかって手抜きレッスンを受けていましたが、「今回ばかりは目の色が変わっているね」と言われました。五月晴れの舞台上でちょっとの間違ひは笑顔でやり過ぎ楽しみました。

各国と関わりのある人達のベリーダンス、ゴスペル、タイ舞踊、ウクレレ演奏等々珍しいものもあります。また色々な国の食べ物や土産ものや洋服等があり賑やかでした。毎年5月3,4日に開催されますので暇がありましたら皆様でお誘いの上是非見に来てくださいね。



故郷の思い出

4班 坂本 ○○



私の故郷は、昭和29年(1954)11月に越谷・大沢の2町と六つの村が合併するまでは、南埼玉郡大沢町と云われておりました。最寄の駅名は、東武線の「武州大沢」と云い、昭和31年12月に現在の「北越谷」に代わりました。

いつも春を迎えると私が懐かしく思うのは、故郷「武州大沢」の時代です。昔から駅の西側一帯は、関東一の梅林と桃林と云われて有名でしたが、その中でも特にお寺の境内になりますが、「古梅園」には、しだれ梅などがあり、毎年たくさんの花見客が訪れておりました。当時、電車から降りてホームに立つと梅の香りが漂ってきたのを思い出します。また、古梅園では、梅の季節になると「光頭大会」(別名ハゲ大会)と云われるユニークな大会が催され、審査員には松竹歌劇団のスター(小月冨子・川路龍子?)が招かれており、ハゲてる面積と光沢を競い合っておりました。

「光頭大会」は、私の記憶では、越谷町から出場した豆腐屋の御主人が優勝され、頭の手入れについて問われると「おからで頭を磨くと光沢がでるのです。」と答えたそうです。

時代が変わり今は宅地開発も進み、梅林も桃林も無くなりましたが、最近では梅林に代わって「北越谷元荒川堤の桜」、として知られるようになり、桜の季節には大勢の花見客が訪れて賑わいを取り戻しております。この桜の植樹は、たしか私が中学2年生の頃だったと思いますが遠い昔の事で忘れまして。

因みに、EXILE ATSUSHIさんは、古梅園からほど近い所の出身です。



「かち歩き大会」に参加して

2班 黒川 ○○

「かち歩き大会」とは 1:健康と体力の向上 2:心身の鍛錬 3:飢え・渇き・疲労の体験 4:自己への挑戦を目的とし、長い距離を「飲まない、食べない」で歩く〔自己鍛錬〕の大会です。しかし、現在は健康に考慮し、水分の補給・軽食をしながら歩いても良い様に変化を来ています。順位、時間を競う大会ではありません。

「飲まない・食べない・走らないの原則の下に完歩を目指す」というポスターを目にした夫に誘われて、一度は「どういうものか?」と興味があり、26年前に参加しました。

大宮～加須間の31Km。10Km地点までは準備運動を兼ねた団体歩行をし、そこまでは和気あいあいとおしゃべりをしながら楽しく歩きますが、それ以降は自己ペースで歩くのです。順位は関係ないのですが中には信号が青～黄に変わろうとしている間に渡ろうとしている人や、小走りをする人なども見受けられ、スタッフから2度注意を受けると失格になります。15Kmまではどうにか頑張り、早く歩こうとしたときに指が痛くなり、次第に足の痛みと疲れが増してきて、「参加をしなければよかったかな」とか自問自答をします。とにかく、制限時間(午前9時～午後4時)までにゴールすれば、後はゆっくり休めるので頑張りようと思いながら歩き、ゴールした時の歓びと達成感は格別です。

これと同じ行事が九州・福岡大会です。

平和台～志賀島までの31Kmで、福岡マラソンは途中で折り返しますが、「かち歩き大会」は平和台から志賀島まで渡ります。毎年実施されていて賑やかな博多を通り天神・中洲を通り、民家の少ない海岸通りになり、博多湾と玄界灘の間の橋を通る時の寒さは、頬に砂や風が当たり強風で歩くのが大変でした。完歩後は観光をします。小倉城、福岡タワー、太宰府天満宮、博多ドンタクの出る住吉神社、熊本城、水前寺公園、長崎平和公園、長崎の夜景、シーボルト記念館、グラバー園出島、眼鏡橋など、・・・

毎年、完歩を目標にしながら違う場所を見てきます。

九州の「かち歩き大会」も一度だけの参加と思っていましたが、健康に恵まれ、完歩する事と毎年違う場所を観光し、夫は9回目で私は4回目になりました。夫は来年も参加。出来れば10回目310Km賞の区切りになるので参加したいらしいです。私も5回目を目標に健康に注意して、来年も参加出来るようにしたいです。